

重要

車上作動処理委託契約事業者の皆さまへ

冠水車両のエアバッグ類処理に関する 注意とお願い

台風や豪雨等により冠水した車両について、車上作動処理の際にインフレーター等が破裂したり、通電後しばらく経ってから作動する場合があります。

作業者の負傷や設備の損傷を避けるため、以下の通りご対応いただきますようお願いいたします。

- ◆ 車室内に泥・砂等が残存（明らかに冠水が認められる）／車室内外が洗浄等され、冠水の痕跡が不明な場合

⇒ **取外回収を行ってください。**

電気式の場合、通電しなければ作動することはありません。

※ 冠水していないことが確実な車両は車上作動処理を行ってください。 その際には、従来の安全対策を徹底してください。

なお、エアバッグ類が作動しなかった場合、通電後しばらく経ってから作動する可能性があるため、車両にはすぐに近づかず、数分間様子を見た上で結線状況を確認してください。

〔車上作動処理実施時の安全対策-抜粋(通電時の注意)-〕

- ◇ 車両全体へのカバー
- ◇ 車両から 5m 程度離れ車両との間に遮蔽物を設置
- ◇ ヘルメット着用
- ◇ 車両周辺の安全確認

万一、事故等が発生した場合は、現場を保存(写真等による保存でも可能)の上、
速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

自動車再資源化協力機構

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org